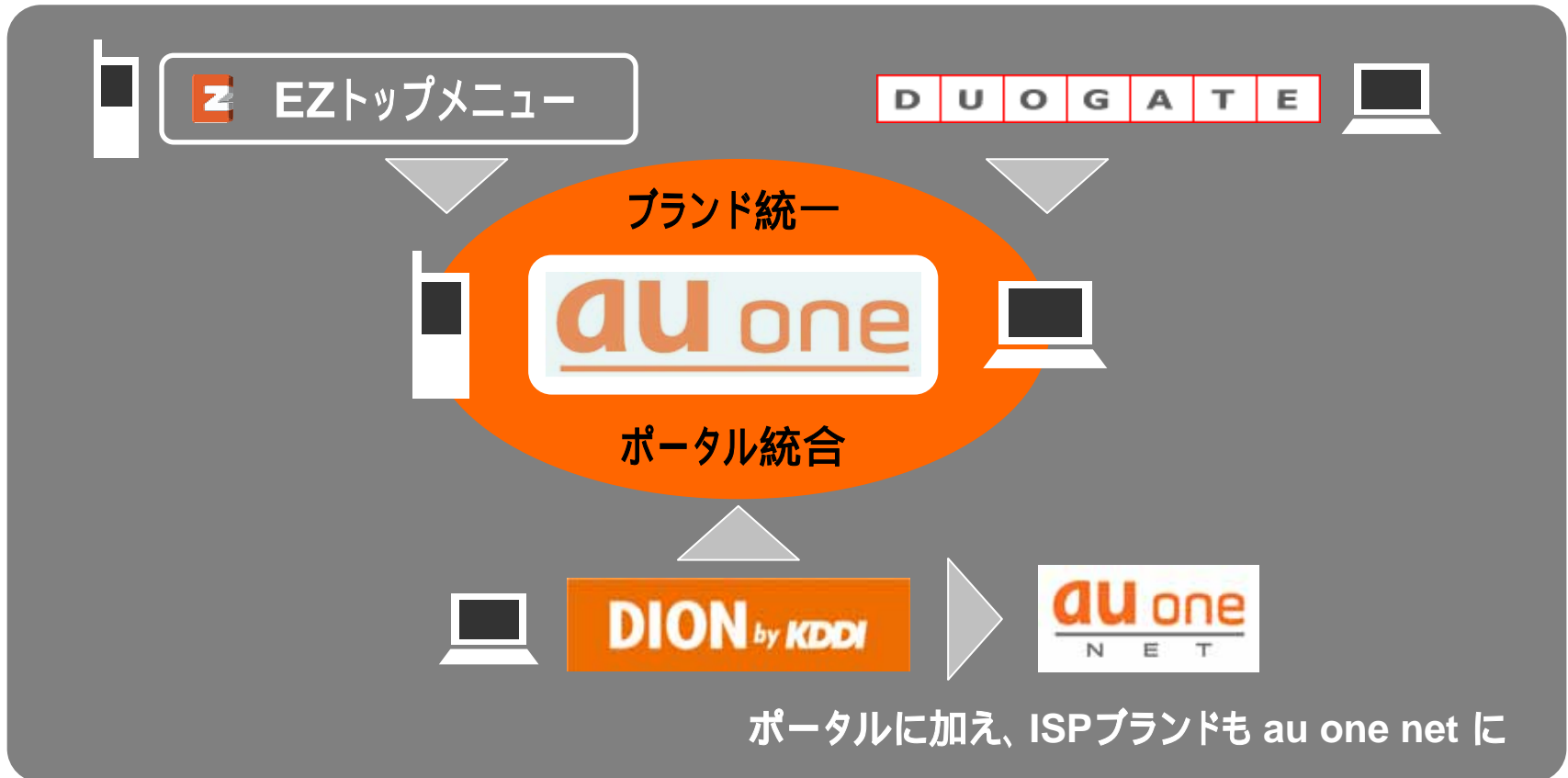


コンシューマ向けFMBCへの取り組み

- au、BBCの営業部門を統合し、コンシューマ営業本部に組織改編(10月1日)。
- KDDIの目指すFMBC世界の実現に向けた大きなステップとして、ケータイとPCのポータルサイトを統合。名称に「au」のブランドを冠することで、統一感を醸成。

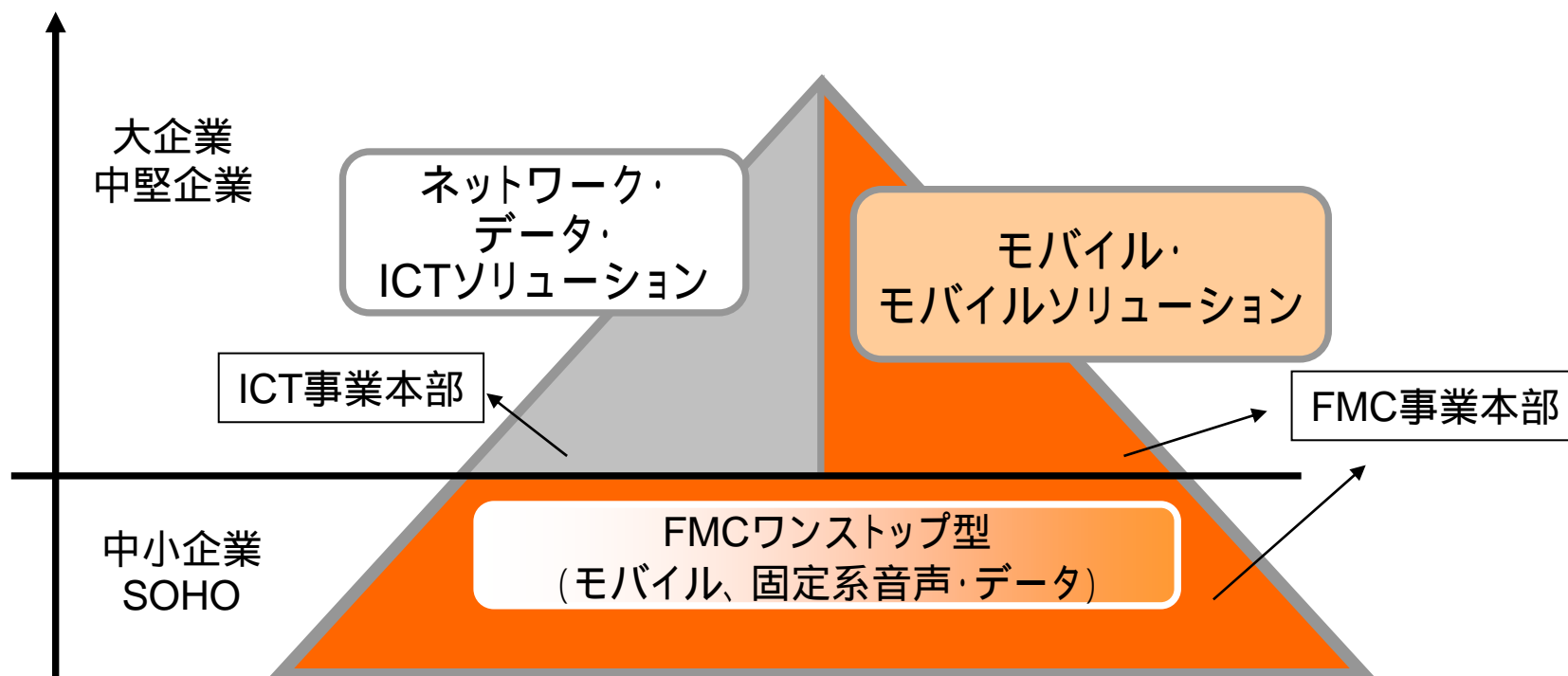


法人向けFMCへの取り組み

モバイルソリューション、ネットワークソリューション、KNSL(中小企業向け)の3組織をより法人市場のニーズに対応すべく、お客様層別組織に改編(10月1日)。

- 大企業のお客様は、モバイル・固定系の商材に合わせ、FMC事業本部とICT事業本部で対応する。
- 中小企業のお客様に対しては、FMC事業本部によるワンストップでの対応とする。

特に中小企業向けモバイルは、auショップとの連携も含め、リーチ拡大を図る。



2.5GHz帯周波数割当への免許申請

企画会社を設立し、モバイルWiMAXによるワイヤレスブロードバンドサービスの提供に向け、2.5GHz帯周波数割当への免許申請。

会社概要

<社名>

ワイヤレスブロードバンド企画株式会社

<株主構成>

KDDI株式会社	32.26%
インテル キャピタル	17.65%
東日本旅客鉄道株式会社	17.65%
京セラ株式会社	17.65%
株式会社大和証券グループ本社	9.80%
株式会社三菱東京UFJ銀行	5.00%

事業構想

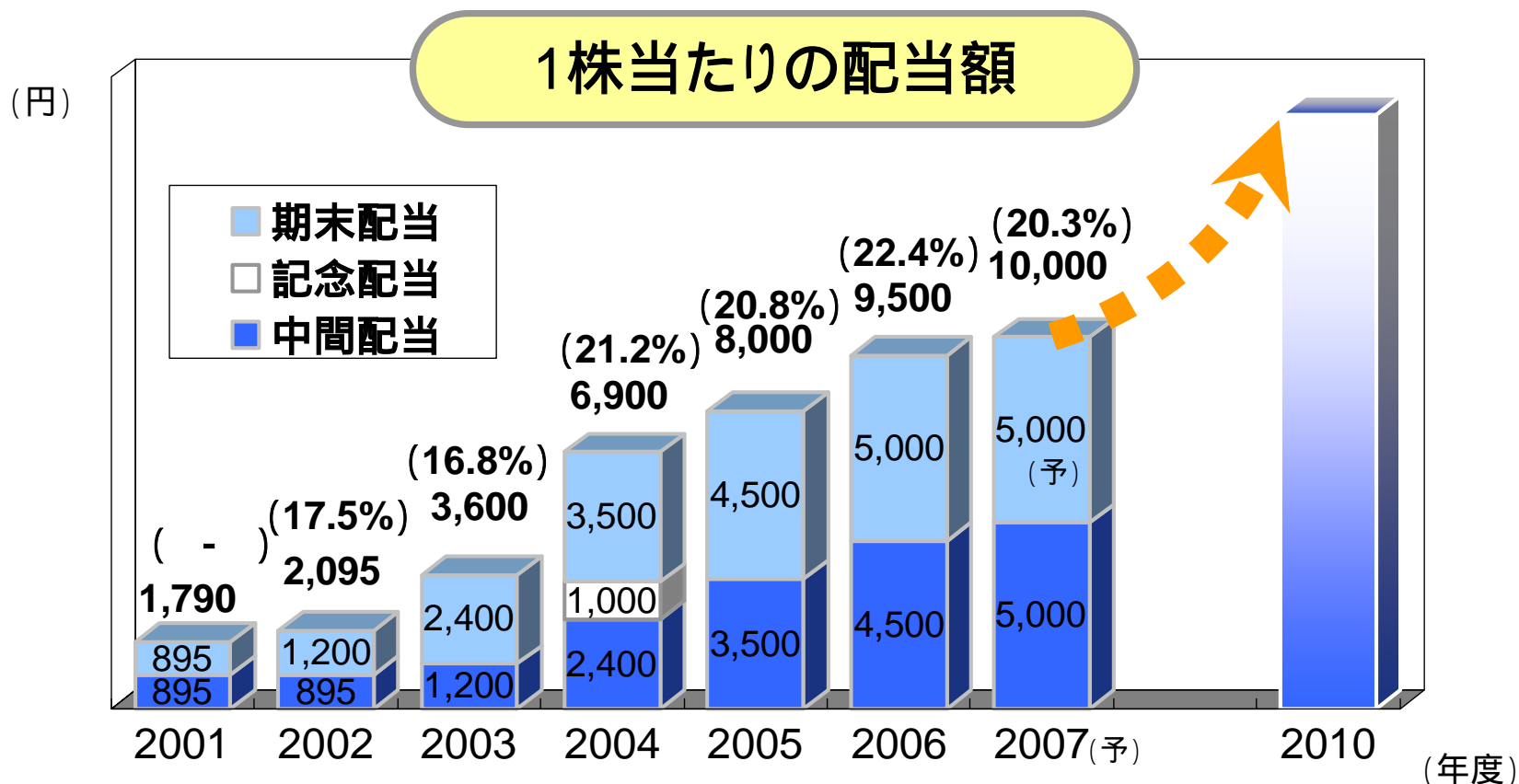
- Embedded (内蔵型) デバイスの普及拡大により、新たなWiMAXの利用価値拡大を目指す。
- オープンモデルを積極的に推進し、MVNOと共にWiMAX市場拡大を図る。

デバイスの拡大



株主還元

持続的な成長への投資を勘案しつつ、連結配当性向20%以上を目標に、安定的な配当を継続する。



(注) ()は配当性向。2005年度までは単体ベース、2006年度より連結ベース。2001年度は純損失のため、(-)表示。